

臨時・岡山もも脳ネット運用会議 議事録

開催日時：平成 21 年 3 月 2 日（月）19：00～20：00

開催場所：岡山医療センター 4 階大研修室

出席者：赤磐医師会病院（竹内 Ns、福島 Ns、川上 PT）

旭ヶ丘病院（角房 MSW）

いしま病院（大橋 Dr、佐藤 MSW）

大杉病院（菅田 Dr、熊本 Ns、堀尾 PT）

岡村一心堂病院（蓮井 Dr、小原 OT）

岡山医療センター（大森 Dr、久山 Ns、鳥越 Ns、安藤 PT、今泉 PT、末澤 PT、
吉田 PT、渡利 PT、木戸 MSW、宮園 MSW、森重 MSW）

岡山協立病院（原田 Dr、金谷 PT、中島 OT、植木 ST、岩木 MSW）

岡山旭東病院（今村 Dr、赤刎 Ns、井上 Ns、今村 Ns、遠藤 Ns、原田 Ns、牧浦
Ns、山崎 Ns、湯浅 Ns、片岡 PT、平上 PT、野間 OT、片岡 MSW、
仲井 MSW、細谷事務）

岡山光南病院（松井 Ns、知野見 PT、斉藤 MSW、西村 MSW）

岡山済生会総合病院（奥田 PT、村藤 PT、宮本 MSW、池田事務）

岡山市民病院（植田 Ns、梅田 Ns、菊井 PT、大川 PT）

岡山赤十字病院（片岡 Dr、井上 Dr、石津 Ns、木村 Ns、末田 Ns、三宅 Ns、小
幡 PT、工藤 ST、内藤 MSW、石原 MSW、橘 MSW、久村事務）

岡山市立せのお病院（竹重 Ns、続木 Ns）

岡山大学病院（岡田 Dr、菱川 Dr、安藤 Ns、池尻事務）

岡山中央病院（太田 Ns、甲谷 PT、森井 MSW、山本 MSW）

岡山中央奉還町病院（小島 Dr、光森 Ns、金光 PT、斉藤 PT、宮島 OT、谷本 MSW）

岡山東部脳神経外科岡山クリニック（柏 Ns、花房 OT、安井事務）

岡山東部脳神経外科東備クリニック（野口 Dr、兼平 Ns、秋房 PT、藤原 PT、中
村 OT、浜田 ST、石田 MSW、三角 MSW）

岡山リハビリテーション病院（森田 Dr、柚木 Dr、井上 Ns、坂本 Ns、吉村 Ns、
荒尾 PT、冠野 MSW）

岡山労災病院（片山 Dr、坪井 Ns、山崎 Ns、荒神 PT、上田 OT、井上 ST、
末永 MSW）

梶木病院（曾我 Ns、清 PT、上田 OT、石原 ST、大瀧 MSW、東森事務）

かとう内科並木通り診療所（岡本 OT、横山 MSW）

川崎医科大学附属川崎病院（大塚 OT）

吉備高原医療リハビリテーションセンター（八幡 Dr、植村 Ns、原之園 Ns、森山 Ns、田中 MSW）

倉敷中央病院（十河事務）

健康づくり財団附属病院（平松 Ns、内田 PT、難波 PT）

光生病院（吉田 Ns、亀山 PT、松尾事務）

児島中央病院（田中 PT、松本 PT、犬東事務、梶山事務、松浦事務）

小林内科診療所（大田 Ns、小西 Ns、森 PT、浜田 MSW）

済生会吉備病院（高田 Dr、益岡 Ns、遠藤 PT、岩藤 MSW、寺尾事務）

佐藤病院（笠原 Ns、藤井 Ns、金光 PT、田村 PT、宇民 MSW、田中 MSW）

瀬戸市民病院（岡崎 Dr、和気 PT）

高梁中央病院（久山 Dr、堀家 Ns、新山 Ns、樋口 MSW）

玉野市民病院（槌田 Ns、田中 PT、藤岡 OT、佐藤 MSW）

晴れのくに薬局（松永薬剤師）

宮本整形外科病院（為房 Ns、山田 Ns、矢本 Ns、川山 PT、吉房 MSW）

竜操整形外科病院（黒川 Ns、北 PT、内田 MSW・宮城 SE）

計 37 施設 168 名（敬省略・五十音順）

①ワーキンググループ発足と経過について説明（岡山赤十字病院：井上 Dr）

- ・医療者用パスは、紙ベースだと煩雑になるためエクセルでの作成となった。

②セクションごとに医療者用パスの記入方法について説明

（岡山赤十字病院：井上 Dr・三宅 Ns・内藤 MSW・工藤 ST、岡山旭東病院：片岡 PT）

- ・当日の配布資料参照又は「もも脳ネットホームページの資料室」に掲載予定。

③医療者用パスの入力方法について（竜操整形外科病院：宮城 SE）

- ・全角で記入すること。
- ・カレンダーの削除は、キャンセルボタンでおこなう。

④医療者用パス使用前の設定手順（岡山赤十字病院：小幡 PT）

- ・当日の配布資料を参照
- ・「もも脳ネットホームページの資料室」に医療者用パスの様式と使用方法を掲載予定。
質問については、「もも脳ネットホームページのお問合わせ」にて受け付ける。

⑤運用手順について（岡山医療センター：大森 Dr）

- ・転院の有無に関係なく、基本的には全症例に適用する。
- ・病院ごとに患者 ID をつける。
- ・転院時の情報提供書は CD-R を基本とし、難しければ紙でも可能とする。
（連携病院からのフィードバックも同様）
- ・病院ごとに患者用オーバービューパスを保管するファイルを作る。
- ・年一回評価する。（症例数や在院日数など）
- ・半年後に運用方法の改訂を考える。
- ・医療者用パスのニックネームをつけてみてはどうか？

⑥今後について

次回開催日：3月26日（木）19時～ 於：岡山医療センター

保健所との共同開催であり、医師会・ケアマネージャーにも声を掛ける。

在宅との連携体制を作るため、職種別ミーティングに「在宅グループ」を作ってみてはどうか？

⑦岡山パスの名称について(医師)

「脳卒中連携情報提供書」という名称にする。将来の普及を見込んで、あえて、「岡山」という名前は付けない。

⑧様式12-2部分のデータについて(医師)

岡山リハビリテーション病院 森田先生から、急性期病院にフィードバックしなくてはならないデータ部分が自動的に入力されるような様式12-2を作ってはどうかという提案あったが、あえて12-2を作り直すのではなく、別紙にデータのみ打ち出されてくるような形態でプログラムを微調整する方向にしていくこととする。

⑨内服薬の形態について(薬剤師の方からのコメント)(医師)

粉碎の要否などについてコメントする欄があってもいいのではないか。

———これについては今後の検討課題とし、今回は盛り込まないこととする。

（書記：木戸）

⑦-⑨：大森記